

田中 恵子 (たなか けいこ : TANAKA Keiko)

ライフデザイン総合学科

【職 名】 教授

【最終学歴】 京都大学大学院 薬学研究科製薬化学専攻修士課程修了

【学 位】 博士(薬学)

【専門分野】 食品科学

【担当科目】 食生活論、食品学基礎実験、栄養学、生化学、医学・薬剤一般

【所属学会】 日本公衆衛生学会、日本栄養改善学会、日本リスク研究学会、日本食生活学会

【研究課題】 ・食生活におけるリスク教育方法に関する研究 ・栄養成分表示普及に関する研究

【主な教育研究及び社会的活動】

(1)論文:

- ・「家族の食事作りを担当している40、50歳代女性の塩分表示に関わる知識・意識・行動の実態と食生活との関連」、筆頭著者、日本公衆衛生雑誌、vol.69、pp.87-97(2013.2)
- ・「保育者養成課程学生の乳幼児の食のリスクに対する認識」、筆頭著者、京都文教短期大学研究紀要、第55集、pp.49-58(2017.3)
- ・「幼児を持つ母親の食のリスクの考え方、知識、意識および行動」、筆頭著者、日本公衆衛生学雑誌、vol.64、pp.567-576(2017.9)
- ・「食品添加物のリスク知覚に関する一考察」、筆頭著者、京都文教短期大学研究紀要、第56集、pp.73-82(2018.3)
- ・「幼児へのサプリメントの利用経験がある母親の食のリスクに関わる認識について」、筆頭著者、京都文教短期大学研究紀要、第58集、pp.35-44(2020.3)
- ・「幼児を持つ母親の栄養成分表示の参考状況ー成分表示教育に関する一考察ー」、単著、京都文教短期大学研究紀要、第59集、pp.67-75(2021.3)
- ・「京都文教短期大学におけるノートPC必携化の状況と課題ーシラバス分析と学生・教員のアンケート調査結果からー」、共著、京都文教短期大学研究紀要、第62集、pp.67-78(2024.3)

(2)資料:「栄養成分表示の制度並びにその活用の現状と課題」、単著、京都文教短期大学研究紀要、第61集、pp.15-125(2023.3)

(3)教育方法の実践例:「栄養士養成課程におけるリメディアル教育の取り組み」、筆頭著者、京都文教短期大学研究紀要、第54集、pp.119-125(2016.3)

(4)教科書の作成:

- ・基礎からの食品・栄養学実験、共著、建帛社(2014.4改訂)

(5)社会的活動:

- ・栄養改善学会評議員、栄養改善学会近畿支部評議員、京都府消費生活審議会委員
- ・厚生労働省管理栄養士専門分野別人材育成事業委員(2018~2020)

【その他特記事項】

- (1)研究費の獲得:科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金・基盤研究(C)、消費者への効果的な食品表示教育方法の検討ー個人レベルのリスク管理のために、研究代表者(2011.4~2015.3)
- (2)学内活動:食物栄養学科長(2013.4~2015.3、2017.4~2020.3)、学生部長(2015.4~2017.3)、京都文教学園評議員(2019.5~)、教務担当部長(2020.4~2021.3)、教務部長(2021.4~2024.3)